

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	東日本大震災の被災により職員の異動が多く、地域密着型サービスの意義を良く理解できなく業務にあたっている状況であったためもう一度その意義について学習し、また事業所理念についても見直す必要があるため。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型サービスの意義を学習する</li> <li>・地域密着型に応じた運営理念を掲げる</li> <li>・兼務である小規模多機能事業所も〃目標とする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月8日に会議を行い地域密着型サービスについて学習し、運営理念について話し合う</li> <li>・運営理念「地域と共にその人らしく」に決定する</li> <li>・毎日のミーティング時に提唱し実践に努める</li> <li>・定期的な会議等で実践の評価を行う</li> <li>・運営推進かいごにおいて説明する(8月)</li> </ul>	平成25年4月から1年間
2	(13)	災害対策では万全を期してきたが、震災後は住所地や環境も変わったことから、新たに災害対策についての方法等を検討しなければならないことにある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害対策について話し合う</li> <li>・避難経路の周知徹底を図る</li> <li>・災害備品等について整備する</li> <li>・マニュアルを再検討する</li> <li>・地域住民との協働で避難訓練を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月8日の会議の中で、災害対策について協議する</li> <li>・避難経路及び場所は玄関やデッキ側から出て仮設集会所前を通り仮設団地入口付近とする</li> <li>・食糧などの備蓄品は予算化して準備を進める</li> <li>・身体を保護するものは施設にあるものを使用</li> <li>・環境に合ったマニュアルを作成する</li> <li>・7月に地域住民や消防署の協力で夜間を想定した総合防災訓練を実施する</li> <li>・会議等で進捗状況等を確認する</li> <li>・運営推進会議において説明する(8月)</li> </ul>	平成25年4月から8月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。